



産業廃棄物処理計画書

令和 5年 7月 10日

柏市長 殿



提出者

住所

氏名

電話番号

柏市大室265-13

株式会社 真工業

代表取締役 鈴木 真弓

04-7108-0088

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 真工業
事業場の所在地	柏市大室265-13
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	土木工事・解体工事・舗装工事・建築工事
② 事業の規模	8億円
③ 従業員数	23人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(作業所) ・がれき類 (中間処理業社) 委託処理 ・コンクリート殻 ・アスファルト殻 ⇒ ・木屑 ・混合廃棄物 ⇒ (中間処理業社) ⇒ (最終処分)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">本社</div> <div style="font-size: 1em;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">工事責任者</div> <div style="font-size: 1em;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">各現場代理人</div> <div style="font-size: 1.5em;">↓</div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span>.....</span> <span>処理計画作成担当者</span> </div> <div style="font-size: 1em;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">産業廃棄物処理担当者</div> </div>	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
① 現状	<b>【前年度（令和3年度）実績】</b>
	<div style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">産業廃棄物の種類</div> <div style="padding: 2px 5px;">8種類</div>
	<div style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">排 出 量</div> <div style="padding: 2px 5px;">5869.58 t</div> <div style="padding: 2px 5px;">t</div>
	(これまでに実施した取組)  ・木屑はリサイクル破砕等再資源に努めました。  ・がれき類等一部最終処分となりましたが、建設副産物として再資源化できるように努めました。
②計画	<b>【目標】</b>
	<div style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">産業廃棄物の種類</div> <div style="padding: 2px 5px;">8種類</div>
	<div style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">排 出 量</div> <div style="padding: 2px 5px;">4051.97 t</div> <div style="padding: 2px 5px;">t</div>
	(今後実施する予定の取組)  木屑・がれき類は、建設副産物としての再資源化できるように努力します。
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 作業所内での分別作業、廃棄物の種類ごとに仕分けを行って分別作業を行っています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の分別作業の徹底周知、分別の作業体制に取り組みます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	これまでに自ら再生利用を行ったことはありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も、自ら再生利用を行う予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
これまで自ら中間処理を行ったことはありません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
今後も、自ら中間処理を行う予定はありません。			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまで自ら埋立処理又は海洋投入処分を行ったことはありません。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら埋立処理又は海洋投入処理を行う予定はありません。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	8種類	
	全処理委託量	5869.58 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 処理業社との委託契約書を交わし、搬出される廃棄物が適正処理されている事をマニフェストにおいて確認をしています。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	8種類	
	全処理委託量	4051.97 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>がれき類・木屑等、建設副産物は再資源化できるよう分別に努め 優良認定処理業社への処理委託を積極的に行います。 混合廃棄物の最終処分量を4%以内に抑制できるよう努めます。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物の搬出抑制に関する事項

(t)

品目	令和4年度実績	計画(目標)
木くず	217.21	196.8
コンクリート殻	1446.85	646.85
アスファルト殻	1719.75	1269.75
がれき類	2355.35	1854.85
廃プラスチック	31.8	16.3
混合廃棄物	34.62	26.12
ガラスくず・コンクリート及び陶磁器くず	34.8	22.5
ボード	30.2	18.8
合計	5869.58	4051.97



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 7月 10日

柏市長 殿

提出者

住 所 千葉県柏市大室265-13

氏 名 株式会社 真工業

代表取締役 鈴木 真弓

電話番号 04-7108-0088



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 真工業
事業場の所在地	千葉県柏市大室265-13
事業の種類	建設業(総合工事業・職別工事業(設備工事業を除く))
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8559.3 t	全処理委託量	8559.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

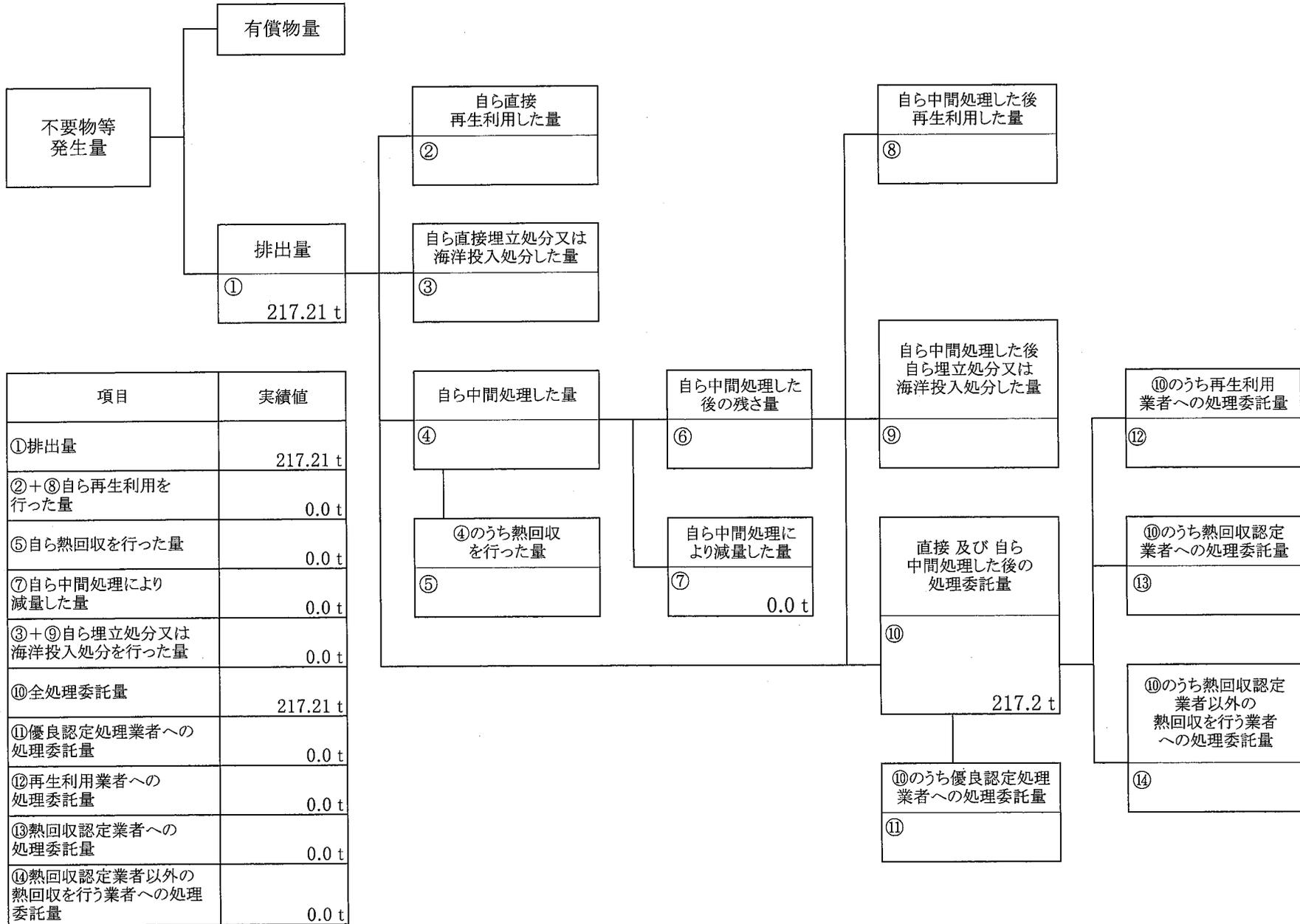
(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



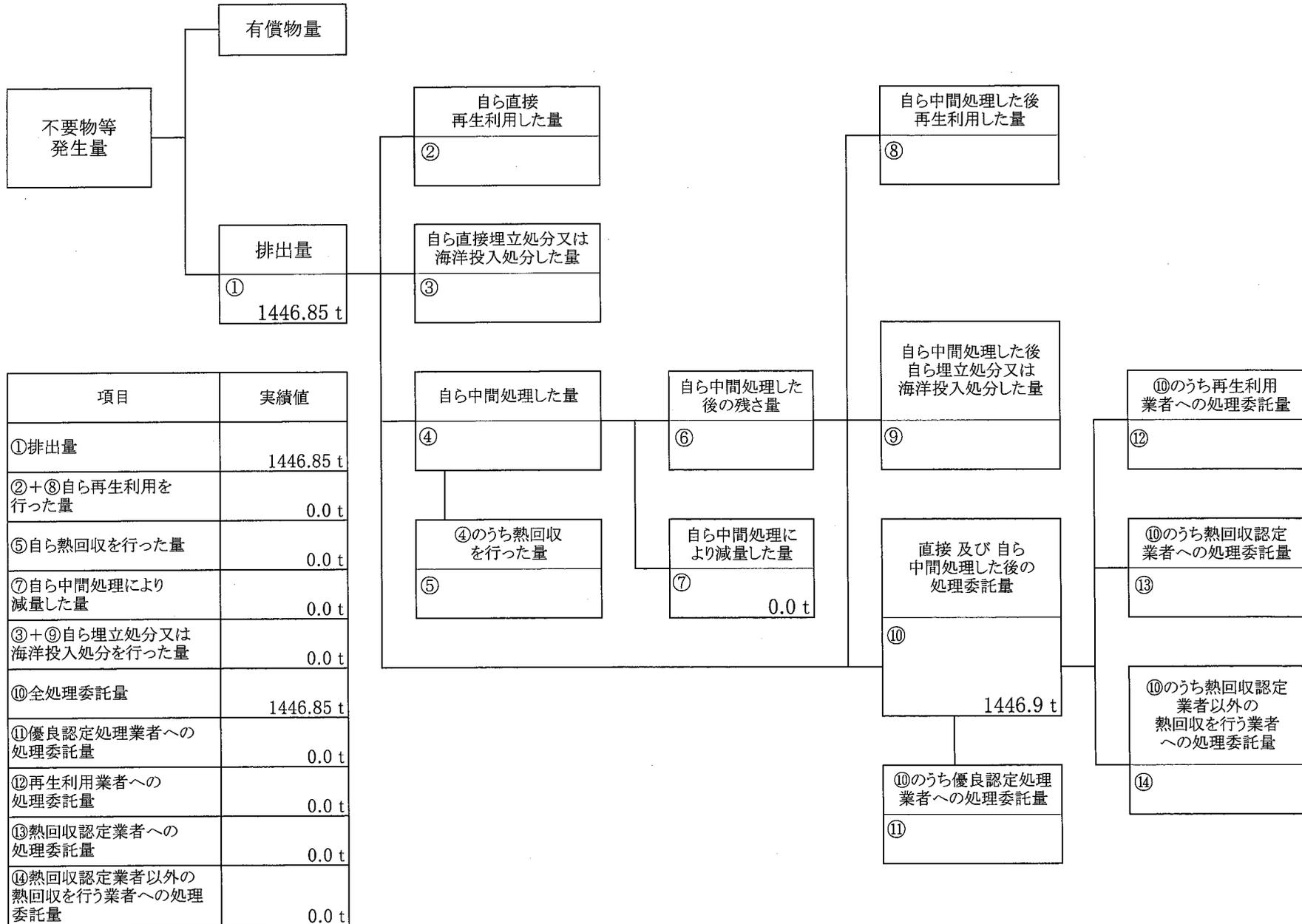
項目	実績値
①排出量	217.21 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	217.21 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリート殻

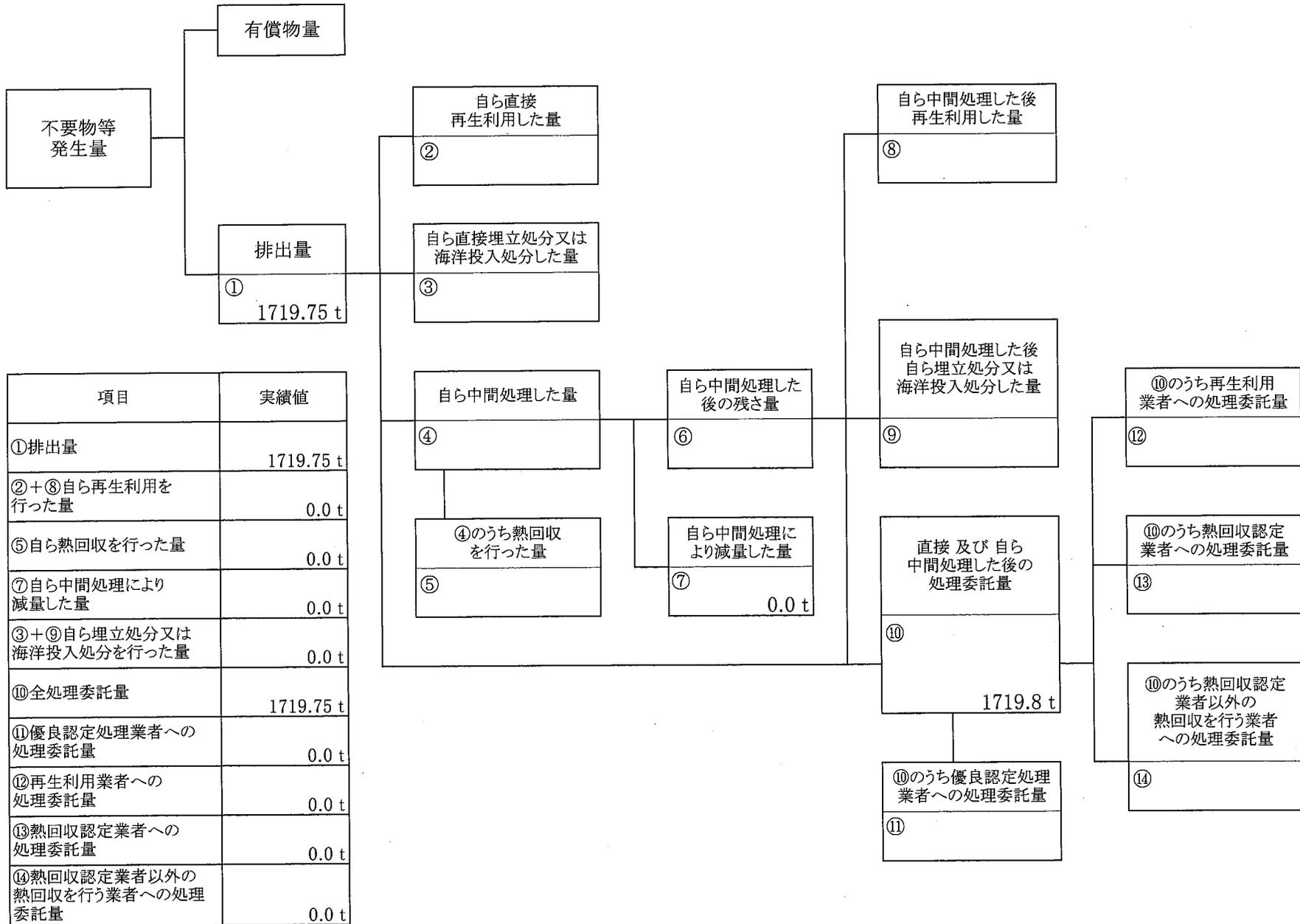
)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

アスファルト殻 )

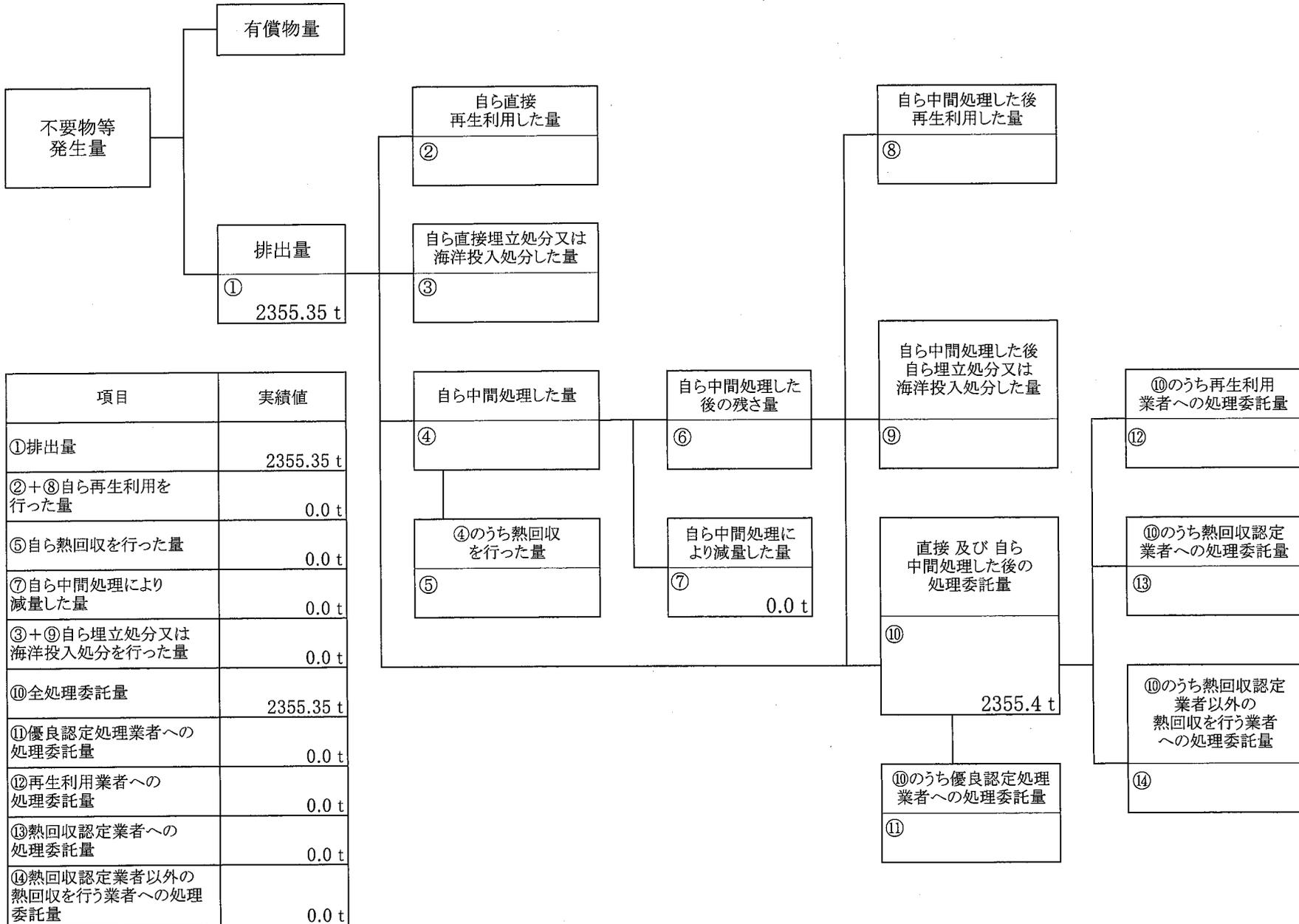


項目	実績値
①排出量	1719.75 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1719.75 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

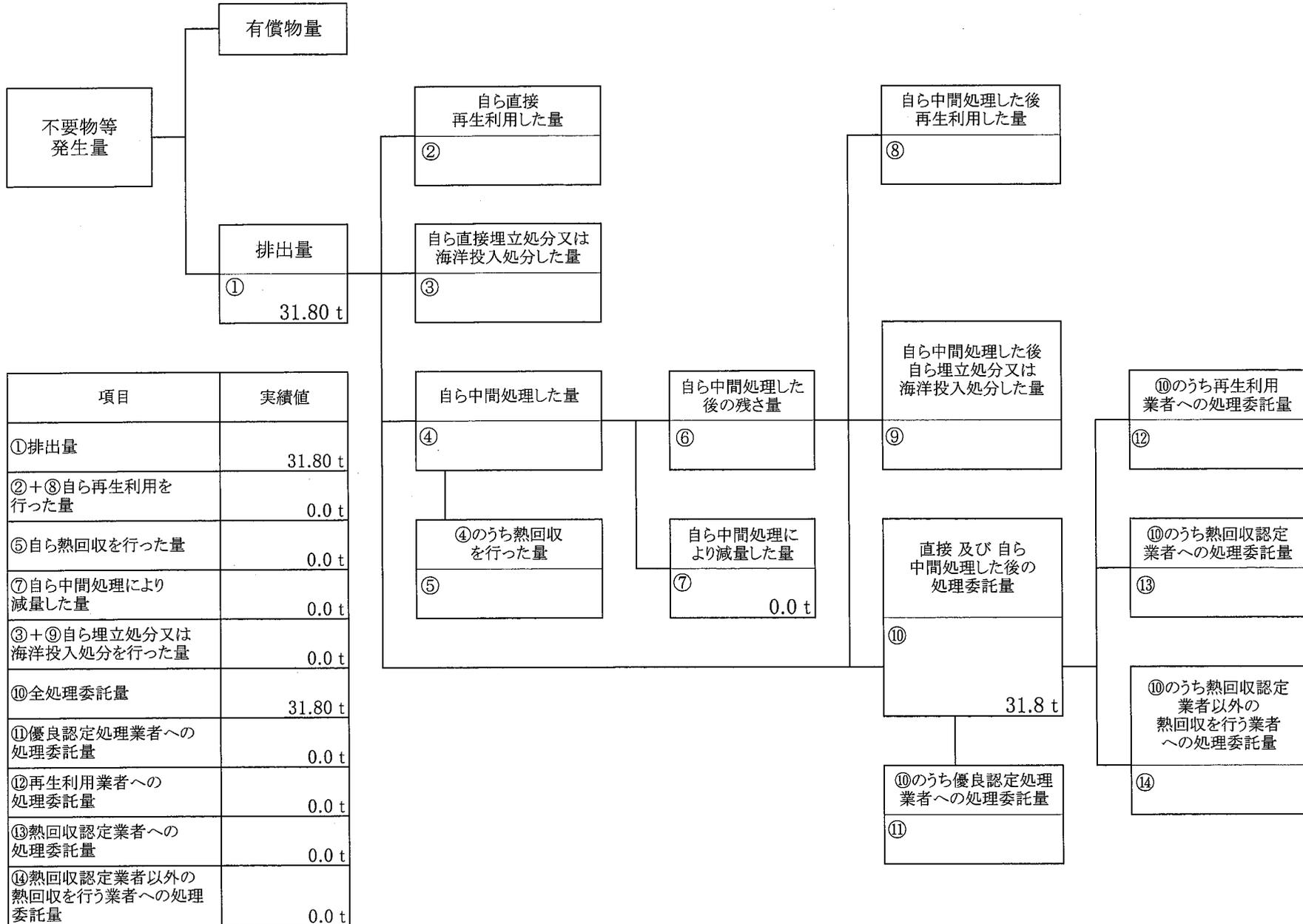
がれき類 )



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

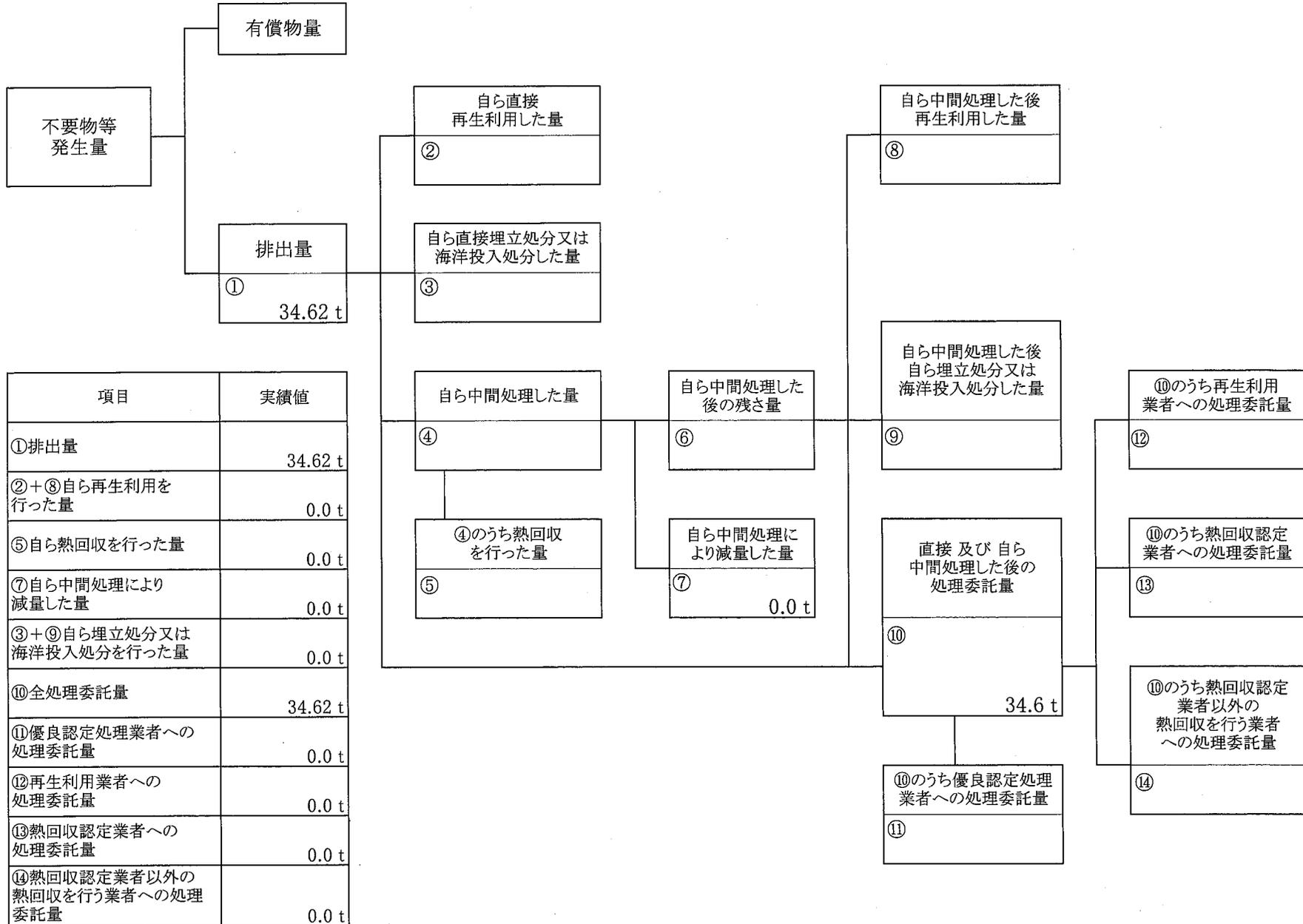
廃プラスチック類 )



計画の実施状況

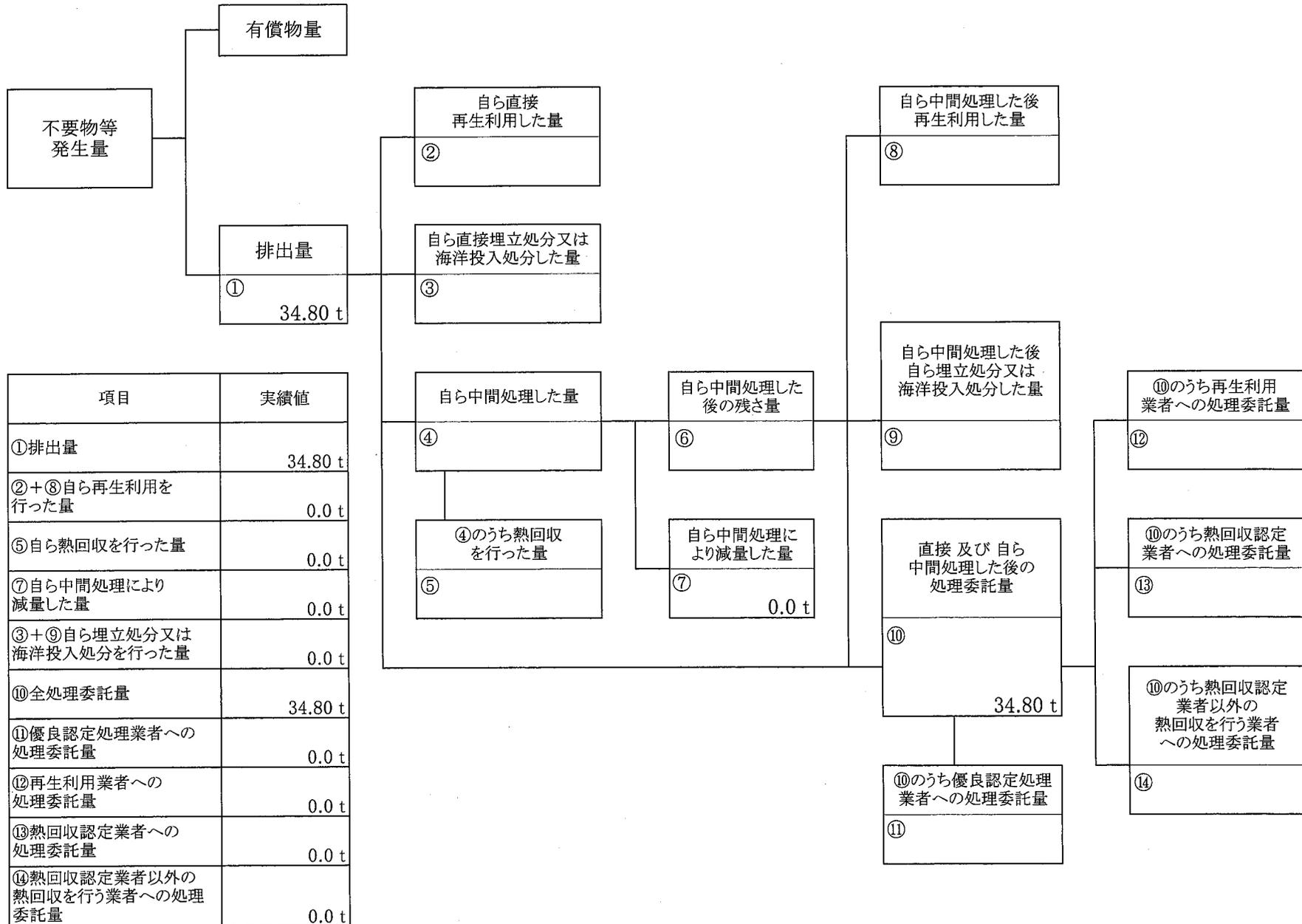
(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物 )



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず )

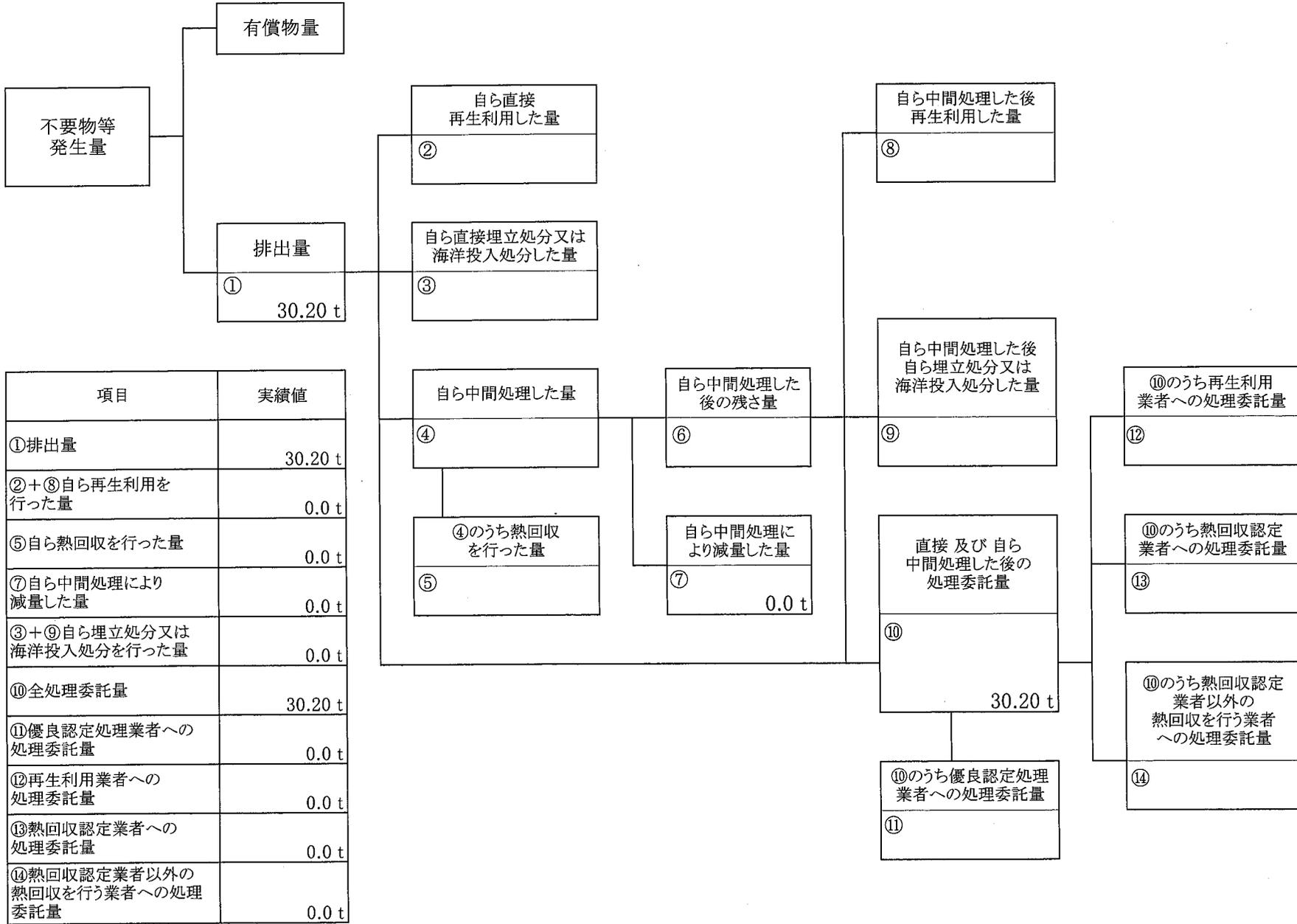


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

ボード

)



項目	実績値
①排出量	30.20 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.20 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t